



ミッション

クリケットのスポーツ、精神、そしてコミュニティを通して、

- 人々の生活やコミュニティを幸せで豊かなものにする
- 人、コミュニティ、国を近づける架け橋となる

バリュー

クリケットは次の価値を大切にすることで、ミッションを果たす

- スポーツとして、楽しく、健やかな生活を創造すること
- 熱心、誠実、寛容、献身に代表されるクリケットの精神をはぐむこと
- 多様性、国際性、思いやりのあるコミュニティを形成すること

5カ年戦略(2013年~2017年)

ビジョン

A Shining Sport of Choice ~光り輝く、魅力あるスポーツ~

戦略の柱

| | | | | |
|---------------------------|------------------------|---|--------------------------------------|------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 普及 | 大会 | 強化 | 組織 | 財務 |
| 地域社会において認知度及び体験者を大幅に増加させる | 強固な大会構造を構築し、競技人口を増加させる | 次世代のファンやプレイヤーをインスパイア(刺激/鼓舞)する強い男女の日本代表を育成する | 日本クリケット界に、強い、透明性の高い、責任あるリーダーシップを発揮する | 収入を増加させることで、事業への投資を伸ばす |

意義

| | | | | |
|--|--|--|---|---|
| 規模は小さくとも、日本における競技の基礎ができつつある。その中で、特に学校を通して、また地域密着型で、認知度及び体験者の増加を図る。普及が進んでいる地域において競技の更なる確立を図るとともに、他の地域への拡大も図る。 | 競技人口を増加させることで、より多くの人々の生活やコミュニティを幸せで豊かなものにし、人材を豊かにする。また、競技の商業的価値を高めることで、競技への投資を伸ばす。 | 目標・あこがれとなり、競技を魅力的なものにするような日本代表チーム、選手、そして大会を育てることで、認知度、競技参加者及び競技人口の増加を図り、新しい機会を創出する。特に女子日本代表には、世界ランキングで上位を狙う現実的な可能性がある。 | 良いガバナンスと組織運営は、他の全ての戦略の柱の成功を支えるものとなるため、最善のスポーツマネジメント原則に適応させた組織にし、日本クリケット界に強い指導力を発揮する必要がある。 | 競技の普及・発展を大きく促進するためには、それを支える投資が必要であり、そのために収入の増加を図る必要がある。 |
|--|--|--|---|---|

2017年目標

| | | | | |
|---|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> - ジュニアプログラムを通して、体験者数を年間50,000人にする。 - 1,000人の教員に研修会を実施する。 - ウェブサイトで100万ヒット、15万ユーザー数を、ソーシャルメディアで2,500人のフォロワー数を獲得する。 | <ul style="list-style-type: none"> - ジュニア競技人口3,000人 - 各地域でグラウンド整備を進める。関東の各地域に、ハードピッチを1つ以上整備する。 - 各地域協会にて、コーチ・アンパイアに関する研修・教育コーディネーターを育成する。 - 競技人口5,000人(内女子1,500人) | <ul style="list-style-type: none"> - 女子日本代表の世界ランキング10位以内 - 2014年アジア競技大会で銅メダル以上 - 男子日本代表の2015年ワールドクリケットリーグ6部大会出場 | <ul style="list-style-type: none"> - ガバナンスの見直しを完了し、新しい運営体制を築き、公益社団法人に移行する。 - ステークホルダーへの意識調査において、評価を年々改善させる。 - 地域協会制度を確立する。 | <ul style="list-style-type: none"> - 収入の40%増加 - ジュニアの競技参加プログラム及び大会に複数年契約のスポンサーを獲得する。 - 関東の各地域協会で、常勤の普及員を1名以上維持できる収入を獲得する。 |
|---|---|--|---|--|

重点事業

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| <p>A 小学校を主なターゲットとして、地域協会を通してCRICKET BLASTプログラムを実施する:</p> <p>(i)重点地域にJCA普及員を配置する。まずは、関東の各地域を重点地域とする。</p> <p>(ii)学校訪問による体験会の実施</p> <p>(iii)学校大会(フェスティバル)の実施</p> <p>(iv)教員が授業でプログラムを実施できるように、指導者研修機会及び道具を提供する。</p> <p>(v)東日本大震災復興支援事業 CRICKET FOR SMILESを実施する</p> | <p>A 小学生を対象とする大会形式を開発する。重点地域において、地域協会とJCA普及員の協力によって実施する。地域のジュニアクラブを企画・運営・設立支援する。</p> <p>B 競技人口の増加を支えるため、各地域の行政の協力を得、ハードピッチを整備する。また、多目的運動場を活用するためのピッチを開発する。</p> <p>C コーチ、アンパイア、そしてスコアラーを育成するため、研修・教育コーディネーターを育成し、そのネットワークを構築する。</p> <p>D 既存の大会の拡大を支援する。特に女子チームの増加を図り、クラブがジュニア大会の運営を支える働きを促進する。</p> <p>E 新規のプレイヤーの参加や競技から離れたプレイヤーの復帰を促進するため、T20形式や6人制などの短い試合の大会形式を開発することで、地域協会による大会開催を支援する。</p> | <p>A 才能あるプレイヤーを発掘し、育成するため、適切な強化プログラムを実施し、海外留学を促進する。</p> <p>B 男女及びジュニアを対象とする、質の高い全国大会を企画運営する。</p> <p>C 国際大会に出場する男女の日本代表チームのため、質の高い強化試合を企画運営し、国際大会での成績向上を目指す。</p> <p>D 女子日本代表の2014年アジア競技大会出場を活用し、全国規模での認知度向上を図り、競技に参加する女子アスリートの増加を図る。</p> <p>E 質の高い競技・練習施設を備える、強化拠点を確立する。</p> <p>F 日本代表チーム、国際大会、全国大会、そしてインパクトが大きく、競技の発展に大きく貢献するようなイベントの開催を通して、全国メディアとの関係を構築する。</p> | <p>A 組織のガバナンスを最善のスポーツマネジメント原則に準拠させ、公益社団法人に移行する。</p> <p>B 質の高いスタッフを雇用・育成し、健全な事務所環境を構築する。</p> <p>C 組織の成長のため、ICC EAPやCricket Victoriaとの強固な連携を維持する。</p> <p>D 新しいウェブサイトの構築や、隔月でのニュースレターの刊行を含め、ステークホルダーとの定期的で効率の良いコミュニケーションを確立する。</p> <p>E 事業戦略に基づいて各地域における競技の発展を図る統括団体として、地域協会を設立し、JCAの社員(総会において投票権を持つ会員)とする。</p> | <p>A CRICKET FOR SMILESプログラム及び大会に複数年契約のスポンサーを獲得する。</p> <p>B 新規スポンサーを獲得するため、JCAパートナープログラムを構築する。</p> <p>C JOCとの関係強化に努め、JOCパートナープログラムの活用や、正加盟団体への昇格を図る。</p> <p>D 地域企業の支援や適切な受益者負担モデルの構築により、地域協会の財政的自立を促進する。</p> <p>E 実績順位によって変動するICC助成金の最大化を図るため、競技参加者、競技人口、及び独自財源の増加を重点的に伸ばす。</p> <p>F ウェブサイトでの広告や出版など、新たな財源を開発する。</p> |
|---|--|--|---|--|